

平成28年

目黒区教育委員会

第42回定例会会議録

(平成28年11月8日開催)

第42回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成28年11月8日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	中山 ひとみ
	教育委員会委員	木村 肇
	教育委員会委員	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	後藤 幸子

出席職員	教育次長	関根 義孝
	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	増田 武
	学校運営課長	佐藤 欣哉
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	和田 孝
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	濱下 正樹
	八雲中央図書館長	大迫 忠義

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

日程第1	協議事項	目黒区教育委員会公印規則の一部改正について
日程第2	報告事項	平成29年度隣接小学校希望入学制度申し込み状況(中間集計)について
日程第3	報告事項	平成28年度全国学力・学習状況調査結果について
日程第4	報告事項	教育委員会名義の使用承認状況について

資料配布

- ・学校統合推進課だより(南部・西部地区版)No. 11
- ・めぐろ学校サポートセンターリーフレット
- ・旧守屋教育会館跡地活用について(案)

(午前9時30分開会)

- 教育長 第42回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は中山委員です。
それでは、日程第1を議題といたします。

(日程第1 目黒区教育委員会公印規則の一部改正について(協議事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等ございますか。
- 教育長 本件につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条ですけれども、「教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する」ということで、既に改正が行われたわけですけれども、新教育長制度について、当区は10月1日から適用されています。
したがって、「目黒区の教育」などの冊子の「はじめに」ですとか、目黒区教育委員会名となっているものも、教育委員会を代表する立場である教育長名で発信していくということになってくるのだらうと思います。
なお、どういう場合に教育委員会名で行うのか、あるいは教育長名で行うのかというのは、今、教育委員会事務局内部で検討していますので、よろしくお願ひしたいと思います。
- 教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの協議を了承します。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 平成29年度隣接小学校希望入学制度の申し込み状況(中間集計)について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等ございますか。
- 委員 まだ中間の段階ですが、小規模化している上目黒小学校について質問します。
昨年は、中間でマイナス35人、最終的にマイナス35人でした。今年は、中間でマイナス5人です。これは、保育園をつくったり、ユネスコ的な活動が功を奏したと考えられるのか、まだ楽

観は許されないのか、どうでしょうか。

○説明員

ご指摘のとおり、昨年は資料裏面のとおりの状況でした。

上目黒小に隣接する学校は4校ありまして、中目黒小、油面小、烏森小、五本木小の4校です。今年度については、中目黒小は昨年同様、受け入れがゼロ、それから油面小は35人のままでございますが、烏森小が昨年同様5人、五本木小が昨年35人からゼロへと受け入れ人数の変化がございまして、この結果、上目黒小から隣接が希望できるのは油面小と五本木小のみという実態の中で、最終的に、差し引きマイナス5人という数字になっています。

また、保育園の整備状況であったり、校長が数年前から保護者説明会については、最初は指定校に参加いただきたいと説明を行っている取組み、個々の保護者のところを回って説明をされたりという取組みも地道に続けておりますので、ご指摘のような効果も含めて、動向を注視してまいります。

○委員

例えば上目黒小ではなくて烏森小に希望して入学した場合、烏森小というと、東山中へ進学になると思います。そうなりますと、烏森小・東山中というルートと、上目黒小・中央中というルートを考えたとき、魅力的なのが烏森小・東山中ということであれば、中央中にも頑張ってもらってバランスをとらないと、上目黒小だけ頑張っても小規模化の解消にならないと思います。

○説明員

昨年は烏森小5人の受け入れに対して、中間の段階で申込者は18人、今年は若干ではございますが対象の児童・生徒が増えている中で、入りの希望は16人と、2人減です。隣接で選んでいただく中で、その後の中学校への進学も視野も含め、中学校の魅力づくり、そういったところも踏まえて、今年の動向を参考にしたいと存じます。

○委員

大岡山小学校ですけれども、新1年生が多い傾向が既に2年、3年続いています。今後の動向ですけれども、それによって、教室の数が影響を受けると思うのですが、見直しをお伺いしたいと思います。

○説明員

大岡山小学校については、今年4月の入学の児童が108人で、これは35人学級として4学級になります。

倉庫として使われていた部屋が1つありましたので、そこを教室として増やしました。前年も、転入者の関係で、4月に対して1学級増えている学年がありまして、ここ2年で2学級増設しています。

来年、4学級となれば、学年進行の中で学級が増えていくという可能性はあるのですが、現段階では、3学級の105人を超えない見込みです。3年生になったときに、今度は40人学級の計算になりますので、121人を超えていなければ、3年生になったときに、2年生の4学級は3学級に減ります。

こういったことも含めて、学校長と見通しを立てた上で、今年の隣接の枠を10人にしており、121人を超えない人数で入学が可能かどうかということも見きわめながら行っています。現段階では、2年間で2教室増やした数で、1年生が4学級になっても、校舎的には足りる予定です。

○委員 上目黒小のことを気にかけていたんですけれども、この数だけ見ると、これはマイナス5人ということなので、辞退者が減ったのかなと思ったのですが、先ほどの説明では、五本木小が受け入れを35人からゼロに変更したのが要因だと思いますので、隣接制度についての検証委員会で、隣接の募集定員を増減することが、他校に対してどういう影響を及ぼすのかということも含めて、検討していただきたいと思います。

○説明員 数字で着目させていただけば、ご指摘のとおり、五本木小については、今年児童数が増えて、学校が物理的に受け入れができない状況でございますので、その状況が関係していると思われま

す。その上で、この後の制度の検証、上目黒小のこれまでの取り組み、改めて今日のご指摘も含めて確認してまいります。

○委員 隣接の希望の申込用紙に、なぜ隣接に行きたいのかという理由を明記する欄はありますか。

○説明員 現段階では、理由を聞かずに希望を取っております。

○委員 なぜ他の学校に行きたいのかというところを、アンケートで集めて、捉えていたと思いますが、なぜここを選んだかということがわからないと、数字ばかり追いかけてもよくないと思います。

結局は、フラットな状態にしていきたいわけですね。減っているところは増やしていきたいし、増えているところは抑えていきたいというところだと思います。今後は対応策がないと手をつけられなくなると思いますので、どこかの時点で、なぜその学校に行きたいと思ったかというところを集約しないといけないと思います。

○説明員 現在の検証の中で、直近のアンケートは26年度夏に実施をさせていただきます。

このアンケートの結果も公表している中で、制度検証の中でも材料としていますが、参考までに、小学校の保護者に対してのアンケート結果で最も多かった理由は、「兄弟姉妹が通っている」が33%、「場所が近く、通学がしやすかったから」が32%、ほぼ拮抗しています。以下、「子どもの友達が通うから」、「児童数が多いから」で、これが上位4つの理由でした。ただ、3年前にも理由を確認していきまして、その際は「児童数が多いから」が一番でした。若干の傾向の違いは出ていますので、今後の制度検証の中では、改めてこういった中身も含めて、数字だけではなく論議をしてまいりたいと存じます。

○教育長 　　いずれにしても、29年度の4月に新1年生が入ってくるわけですので、今の段階で、学校の整備にとりかかれないと、直前になってから学級数は簡単に増えませんので、指摘のあった大岡山小学校以外にもかなり厳しいところがあります。

これは、毎年毎年、数字に追われているところが確かにありますけれども、昨年で言いますと、区内の児童数は、対前年、5月1日現在の比較で290人増えている。今年度、何人増えるかは、最終的に、国・私立の関係もあってわかりませんが、依然として都心回帰が進んでいるというのは推測できる。それから、出生数も増えていて、それが今後、小学校入学時にどう影響してくるのか、あるいは東京オリンピック・パラリンピック競技大会が終わるとピークアウトしていくのかどうか、そういう人口動態については、長期的なスパンと短期的なスパンと、両方を見ていく必要があるかと思っています。

○教育長 　　その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 平成28年度全国学力・学習状況調査結果について(報告事項))

○説明員 　　(資料により説明)

○教育長 　　この件についてご質問等ございますか。

○委員 　　概要裏面の一番下に、読書の時間数を書いてあります。中学生で「全くしない」が30%もいるという状況があります。読書をする、読書力を高めるということは、全ての基本だと思います。そのために、どうやって自然に読書に向かわせるかという、土壌

づくりが必要です。実際に何か手だてがあるのでしょうか。

○説明員 ご指摘のとおり、読書を習慣づけていくということは、学力向上、あるいは、豊かな人間性を育むという点でも非常に重要と思っております。

目黒区の生徒の特徴から申し上げますと、部活動に比較的多く所属している、それから通塾もしている、学習時間が多く、テレビやビデオ、DVDの視聴は少なくなっている。そうした中で、読書の時間が全国や東京都より多くなっているということは、短い時間を利用して読書している子どもはいると捉えておりますので、読書好きな子どもたちがいるのも確かです。これを広げていけるような取組みを中学校とともに考えていきたいと思っております。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第4を議題とします。

(日程第4 教育委員会名義の使用承認状況について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。

資料配布

- ・学校統合推進課だより(南部・西部地区版) No. 11
- ・めぐろ学校サポートセンターリーフレット
- ・旧守屋教育会館跡地活用について(案)

○教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時32分閉会)